

## 2000年に北海道で発生した森林昆虫

お ぎき けん いち<sup>1)</sup> はら  
尾 崎 研 一<sup>1)</sup>・原

ひで ほ はやし なお たか<sup>2)</sup>  
秀 穂<sup>2)</sup>・林 直 孝<sup>2)</sup>

(2001.7.24 受理)

### はじめに

北海道内における2000年の森林昆虫の発生状況を、北海道森林保護会議でとりまとめたので報告する。これは北海道水産林務部道有林管理室、同森林整備課、北海道森林管理局と各分局、林木育種センター北海道育種場、各大学演習林、民有林所有者等からの発生報告と同定依頼、および森林総合研究所北海道支所と北海道立林業試験場が行なった調査に基づいたものである。発生情報をお寄せ頂いた関係各位にお礼申し上げます。

### 2000年の発生の特徴

本年は80件の昆虫発生情報が寄せられた。この内の6割はカラマツの害虫であった。これらのカラマツの害虫の発生面積は合計で28,000haに達し、昨年の14,000haより倍増した。この中で特に多いのは道東で発生したニホンカラマツヒラタハバチで、発生面積は16,000haに上った。本種は1993年に発生が確認され、それから4年間は弟子屈町に限られていたが、1997年に北隣の清里町に拡大してからは発生面積が拡大の一途をたどっている。また南へも拡大しており、中標津町、鶴居村、厚岸町でも発生しつつある。網走地方では、ニホンカラマツヒラタハバチと混在してミスジツマキリエダシヤクも発生した。この地方では、カラマツヤツバキクイムシの穿孔被害が散見され

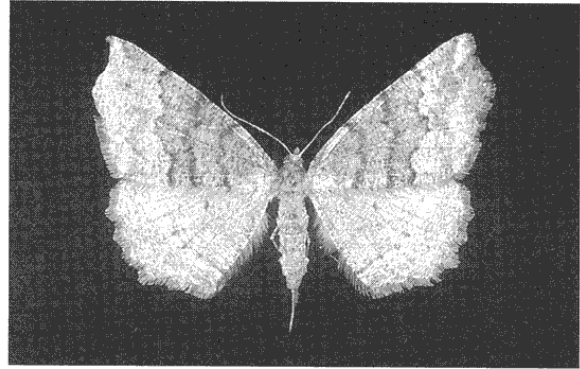


写真-1 ミスジツマキリエダシヤク

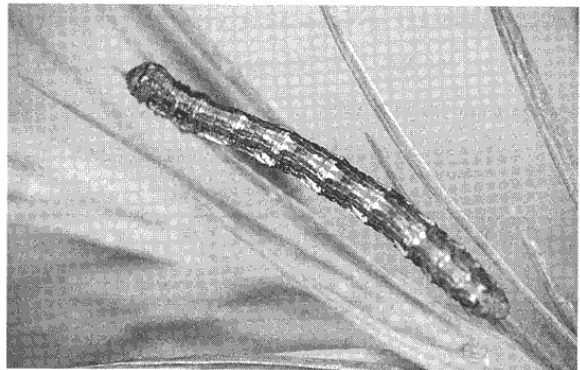


写真-2 ミスジツマキリエダシヤク

るため、今後、食葉性害虫により衰弱した木がカラマツヤツバキクイムシによる二次被害で枯死しないよう注意する必要がある。

これ以外のカラマツの害虫では、道南のカラマツハラアカハバチは依然発生が続いており、被害

地は北および東へ移動している。発生面積は4,900haで昨年と同程度であったが、激害林分が多くなった。今のところ有効な天敵が見あたらないので被害は継続すると予想される。カラマツイトヒキハマキの発生は3年目に入り、昨年より被害が大幅に減少した。カラマツ以外の害虫としては、本年はシナノキハムグリ

表-1 2000年所管別オオアブラムシ類発生状況

所 管	トドマツオオアブラムシ		エゾマツオオアブラムシ	
	被害区域面積 (ha)	防除面積 (ha)	被害区域面積 (ha)	防除面積 (ha)
北海道局	116.94	73.75*	301.69	230.63*
北見分局	0.00	0.00	0.00	0.00
旭川分局	0.00	0.00	0.00	0.00
帯広分局	0.00	0.00	0.00	0.00
函館分局	0.00	0.00	4.00	4.00
小計	116.94	73.75	305.69	207.63
道有林	237.00	225.00	485.00	466.00
民有林	33.61	26.61	14.56	14.56
小計	270.61	251.61	499.56	480.56
合計	387.55	325.36	805.25	688.19

\*は要防除面積

表一2 2000年に発生した森林昆虫（オオアブラムシ類は除く）

昆虫類	加害樹種	発生地(市町村)	発生区域面積(ha)	備考
イタヤハムシ	イタヤカエデ	ニセコ町	63.24	
		喜茂別町	17.36	
		真狩村	17.60	
		積丹町	69.00	
		留寿都村	29.00	
		赤井川村 富良野市	925.80	東大演習林全域
オオスジコガネ	トドマツ	古平町	8.00	
		共和町	10.00	
	アカエゾマツ アカエソマツ, トドマツ	真狩村	2.50	
		余市町 積丹町	6.04 59.04	
カラマツイトヒキハマキ	カラマツ	剣淵町	26.42	
		士別市	21.86	
		和寒町	93.24	
カラマツハラアカハバチ	カラマツ	恵山町	0.96	
		厚沢部町	153.00	ミスジツマキリエダシャク混在
		砂原町	228.76	
		鹿部町	196.92	
		七飯町	1,475.52	
		上磯町	107.88	
		森町	2,105.92	
		大野町	54.40	
		知内町	6.60	
		榎法華村	3.84	
		南茅部町	24.84	
		函館市	53.16	
		八雲町	461.76	
		福島町	0.68	
木古内町	6.48			
カラマツヤツバキクイムシ	カラマツ	紋別市	19.36	
		湧別町	10.54	
シナノキハムグリハバチ	シナノキ	日高町	31,523.14	
		南富良野町 富良野市	1,766.00	東大演習林全域
二ホンカラマツヒラタハバチ	カラマツ	清里町	1,036.04	国有林(460.00ha)民有林(576.04ha)
		小清水町	2,566.00	国有林(1,550.00ha)民有林(1,016.00ha)
		標茶町	1,642.48	国有林(997.00ha)民有林(645.48ha)
		津別町	607.00	国有林(420.00ha)民有林(187.00ha)
		弟子屈町	3,651.52	国有林(1,650.00ha)民有林(2,001.52ha)
		東藻琴村	4,391.60	国有林(450.00ha)民有林(3,941.60ha)
		美幌町	2,170.00	国有林(930,00ha)民有林(1,240.00ha)
		阿寒町	0.88	国有林(0ha)民有林(0.88ha)
		赤井川村	0.64	
		ニセコ町	10.00	
富良野町	10.00	東大演習林南東の沢沿い、天然林		
積丹町	70.04			
ミスジツマキリエダシャク	カラマツ	女満別町	446.00	
		音更町	21.76	
		沼田町	1.00	
		増毛町	1.16	
		端野町	192.36	
		池田・豊頃	1,226.16	
		池田町	256.44	
		美幌町	1,030.00	二ホンカラマツヒラタハバチと混在
		美幌町	1,632.84	
		美幌町	1,350.00	
		網走市	103.00	二ホンカラマツヒラタハバチと混在
		網走市	82.00	
		積丹町	1.00	
		赤平市	387.64	
滝川市	147.52			
ヤナギルリハムシ	ヤナギ類	穂別町		天然林に発生
		日高町		天然林に発生
		平取町		天然林に発生

ハバチの3年周期の大発生年にあたり、道央部の広い地域でシナノキとオオバボダイジュが春先に被害にあった。また、イタヤハムシが赤井川村を中心に、ヤナギルリハムシが日高地方に発生した。モミコスジオビハマキは、昨年は当別町、芦別市、深川市で発生したが、本年は赤平市と滝川市で発生した。

函館市で起きたマツ枯れにマツノザイセンチュウが関与しているのではないかと危惧されたが、枯死木から材片を採取し、その中の線虫を調べた結果、マツノザイセンチュウおよび同属のセンチュウは全く発見されなかった。

サクラなどの緑化樹の害虫であるアメリカシロヒトリが、道内で初めて、函館で発生した。ただし本種が北海道で越冬できるかどうかは不明である。

(<sup>1</sup>) 森林総合研究所北海道支所  
(<sup>2</sup>) 北海道立林業試験場)

#### 2000年度に報告された関係文献

- 福山研二 (2000) 平成11年度第15回森林保護会議報告. 森林保護, 276 : 9.
- 福山研二 (2000) 平成11年度の北海道の森林昆虫発生動向. 森林保護, 276 : 10.
- 林直孝 (2000) シントメタマバエの1種によるアカエゾマツの被害とその生態について. 光珠内季報, 120 : 12-14.
- 原秀穂 (2000) ヤツバキクイムシの増殖を抑えるアカエゾマツ間伐時期の検討. 平成11年度林業技術研究発表論文集, 160-161. 北海道林業改良普及協会, 札幌.
- Hara, H., and Shinohara, A. (2000) A systematic study on the sawfly genus *Cimbex* of East Asia. Japanese Journal of Systematic Entomology, 6 : 199-224.
- Masaka, K., and Hara, H. (2000) Inter-tree variation and yearly fluctuation in the susceptibility of Sakhalin spruce *Picea glehnii*, to shoot-boring sawfly *Pleroneura piceae*. Ecography, 23 : 547-552.
- 井口和信・尾崎研一・磯野昌弘 (2001) 北海道中央部におけるシナノキハムグリハバチの生活史. 日本林学会北海道支部論文集, 49 : 96-98.
- 磯野昌弘・尾崎研一・福山研二 (2000) 落とし穴トラップによる地表性甲虫の調査 一どこまで調査回数を減らせるのか?一. 第60回日本昆虫学会大会講演要旨, p. 68.
- 尾崎研一・福山研二・原秀穂・林直孝 (2000) 1999年に北海道で発生した森林昆虫. 北方林業, 52 : 204-206.

- 尾崎研一・黒田慶子・松岡茂 (2000) 平成12年度北海道森林保護事業推進協議会報告. 森林保護, 279 : 33-35.
- 尾崎研一・黒田慶子 (2000) 森林病虫獣害発生情報: 北海道地方. 森林防疫, 49 : 220-221.
- 尾崎研一 (2001) 芽の継続的な除去がエゾマツの樹形と資源配分を変える. 第48回日本生態学会大会講演要旨, p. 133.
- Ozaki, K., Takashima, S., and Suko, O. (2000) Ant predation suppresses populations of the scale insect *Aulacaspis marina* in natural mangrove forests. BIOTROPICA, 32 : 764-768.
- Ozaki, K. (2000) Insect-plant interactions among gall size determinants of adelgids. Ecological Entomology, 25 : 452-459.
- Ozaki, K., Takashima, S., Kitamura, S., Taniguchi, K., Suko, O. and Subiandoro, E. (2000) Spraying seawater as an effective method to control *Aulacaspis marina* Takagi and Williams (Homoptera: Diaspididae), a mangrove infesting scale insect in Indonesia. Applied Entomology and Zoology, 35 : 287-292.
- Shinohara, A., and Hara, H. (2000) Notes on a spruce-feeding web-spinning sawfly, *Acantholyda aglaia* (Hymenoptera, Pamphiliidae), with description of a new subspecies from Hokkaido, Japan. Bulletin of National Science Museum, Tokyo, Series A, 26 : 1-11.